人間を大切にする

香北中学校

学校教育目標

「人間を大切にする」～信じる・思いやる・探究する～

目指す生徒像
- **自他ともに大切にする生徒**
- **探究する生徒**
- **あいさつ、返事、後始末のできる生徒**

◆ 国際バカロレア

本校は今年度より、国際バカロレアＭＹＰ（中等教育プログラム）の認定校として新たな出発をしました。国際バカロレア教育は、多様性への理解を大切にしており、その使命として「世界各地で学ぶ児童生徒に、人が持つ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続ける」ものとされています。そして、これらを達成に導くため「１０の学習者像」に向かって努力し、「ＡＴＬ（学習の方法）」「概念理解」「ＳＡ（奉仕活動）」「ＩＤＵ（教科統合型学習）」「コミュニティープロジェクト（地域の奉仕活動につながる探究学習）」などの理解やプログラムを通した教育活動を行っています。その中心となるものが「探究的な学習」であり、単なる知識の伝達だけでなく、学習者自身が疑問をもち、深く掘り下げ、新たな理解や自分なりの理解を築いていくことを大切にしています。

ＭＹＰ候補校からの取組としては４年目になりますが、認定に向けて協力してくださった保護者や地域の方々のさらなるご支援をいただきながら、「香北だからこそできるＩＢ（国際バカロレア）教育」を推進し、本校で学んだことが、生徒の将来の生活や課題解決に活かされることを強く願っています。

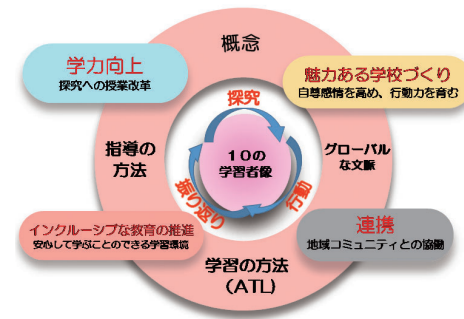
◆「高知の未来を創る」推進プロジェクト　授業づくり講座（外国語）

今年度、県教育委員会から「高知の魅力発信グローバル人材育成事業」の指定を受けており、その指定事業の一環で「授業づくり講座」の公開授業が行われました。香美市の文化の継続や発展について考えるため、修学旅行先の京都で外国人観光客にインタビューすることを目的とし、来校した香美市内のＡＬＴ（外国語指導助手）の先生たちに、相手の国の良さなどを聞き出すやりとりを行う授業でした。県内各地から多くの先生が授業参観し、生徒は緊張しながらも会話に臆することなく、懸命に語ろうとする姿を見せていました。

▲授業づくり講座の様子

◆ 保護者向けＩＢワークショップ

ＩＢ教育への理解を深めていただく機会として、今年度は、学期に１回以上の保護者向けワークショップを開催するように計画しています。１回目は４月２１日に行われ、平日にも関わらず、３０人以上の保護者の皆さんにご参加いただきました。「ＩＢとは？～ＰＹＰ（初等教育プログラム）とＭＹＰの共通点と相違点～」をテーマに、ＭＹＰコーディネーターからの難しい問いかけにも、保護者の方々が積極的に意見を出し合ってくださり、その主体性に驚かされたことでした。

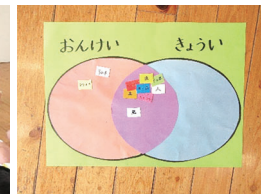
▲ＩＢワークショップの様子

探究心を育む「ユニット学習」

大宮小学校

本校は、国際バカロレア（ＩＢ）の認定校となって３年目を迎えます。その取組の中心となるのが、教科の枠を超えたテーマについて学ぶ「ユニット学習」です。「ユニット学習」では、世界中のどの地域でも共通する、普遍的なテーマについて探究します。子どもたちは、探究の過程を通して、情報を収集・整理したり、自分の考えをまとめて発表したりするなど“学びのスキル”を身につけていきます。子どもたちが、そのスキルを活かして自ら「問い」を立て、学びを進めることができるように、香北中学校とともに、小中９年間で、国際バカロレア教育を推進していきます。

「ユニット学習」の紹介（２年生）　　テーマ：「私たちは自然の恩恵と脅威の中で生きている」

２年生は、野菜を育てる活動を通して、このテーマの意味を理解していきます。自分たちで野菜を育てるために、発芽の条件を実験で調べたり、野菜の育て方について、野菜作り名人にインタビューをしながら、より良い環境とは何かを考えました。太陽や台風、大雨、虫や鳥など自然の恩恵や脅威を感じながら、一生懸命にお世話をしていました。収穫時はとてもうれしそうで、最後には、学んだことを振り返りながら、自然の恩恵や脅威を感じた「野菜の育て方ブック」を作成しました。

野菜作り名人にメロンの育て方を教えてもらいました。

太陽・雨・風などは、野菜にとって恩恵なのか脅威なのかを、ベン図で考えました。

ネットをはったり、間引きをしたりして、野菜にとって良い環境をつくります。

国語の学習を活かして、「野菜の育て方ブック」をまとめました。

スイカの苗を育てたはずが、かんぴょうができて驚きました。「かんぴょうとは何か」新たな探究が始まりました。

６年生の「エキシビション」の紹介

エキシビションとは、６年生の探究の成果を学校、保護者、地域へ公開するもので、ＩＢ校がとても大切にしている発表会です。６年生は、４月から「一人ひとりが地球人としての役割をもっている」というテーマで、ＳＤＧｓの１７項目の中から一つを選び、探究してきました。１１月に中間発表を行い、下級生や保護者の方々からアドバイスをいただき、それをもとに内容を改善していきます。

▶２０２２年度エキシビションの様子

おいしい野菜がいっぱいとれたよ～！

美良布保育園

5月に、4・5歳児が園の花壇やプランターにトマトやきゅうり、カボチャなどの夏野菜の苗を植えました。子どもたちみんなで、毎日の水やりや成長の観察などをして、収穫を楽しみにお世話をしてきました。お世話の中で「花が咲いた」「実がなった」「赤くなってきた」など、たくさんの気付きや発見があり、普段、何気なく食べている野菜がどのように育っていくのか知ることもできました。

みんなで収穫した野菜は、給食の先生がおいしい〝ごちそう〟にしてくれます。サラダや炒め物、浅漬けだけでなく、ピザの具にも！子どもたちも「今日はどんなごちそうになるのかな？」と楽しみにしています。自分たちが育てた野菜には愛着がわき、野菜が苦手な子どもたちもパクパク、モリモリ食べています。

菜園活動での「自分たちで育てた」という経験を通して、ただ食べるだけでなく、食や食べ物への興味・関心と、食べ物を大切にする気持ちを育てていきたいと思います。さあ、次は何を育てようかな？